

簿記論

<本日のスケジュール>

- 19:30~20:00(30分) セミナー
- 20:00~ 質疑応答

※ 19:30になりましたら、セミナーが開始されます。今しばらくお待ちください。

※ 質問は常時受け付けております。「Q&A」ボタンから入力してください。

セミナー内容

- 1 科目の特徴
- 2 本試験の傾向と対策
- 3 8月・9月入学コースの紹介

1 科目の特徴

① 学習内容

「簿記」とは、企業が行う日々の取引を記録（帳簿記入）し、一定の期間ごとに決算を行い、報告書にまとめる作業のことです。

「簿記論」では、企業が行う様々な取引について、その会計処理（取引金額の計算、仕訳、勘定記入、集計、試算表、財務諸表作成などの一連の手続）を学習します。

② 日商簿記検定との関連性

税理士の「簿記論」は日商簿記検定と出題範囲の多くが重複していますので、日商簿記検定を学習された方なら、その知識が税理士「簿記論」の学習において大きなアドバンテージとなります。

**簿記論の学習範囲を簿記 3 級では30%、
2 級では60%、 1 級では90%学習済！**

税理士・簿記論の学習項目	日商簿記検定		
	3級	2級	1級
簿記一巡の手続	○	○	◎
一般商品売買	○	○	◎
特殊商品売買	-	-	◎
収益認識（工事契約を含む）	-	○	◎
現金・預金	○	◎	◎
債権・債務・手形	○	◎	◎
有価証券	-	○	◎
有形固定資産	○	○	◎
無形固定資産	-	◎	◎
研究開発費・ソフトウェア	-	○	◎
貸倒引当金・その他の引当金	○	○	◎
人件費・退職給付会計	○	○	◎
社債	-	-	◎
株主資本	○	○	◎
新株予約権	-	-	◎

税理士・簿記論の学習項目	日商簿記検定		
	3級	2級	1級
繰延資産	-	-	◎
税金・税効果会計	○	○	◎
外貨建取引等	-	○	◎
製造業会計	-	◎	◎
本支店会計	-	○	◎
組織再編	-	○	◎
財務諸表	○	○	◎
会計上の変更・誤謬の訂正	-	-	○
連結財務諸表	-	◎	◎
帳簿組織	◎	-	-
推定簿記	-	-	○

- ◎ 学習済み（ただし、出題傾向・出題形式は異なる）
- 基礎知識は学習済みだが、さらに知識の習得が必要
- 未学習

2 本試験の傾向と対策

① 受験者数・合格者数・合格率の推移

	平成30年 (第68回)	令和元年 (第69回)	令和2年 (第70回)	令和3年 (第71回)	令和4年 (第72回)
受験者数	11,941人	11,784人	10,757人	11,166人	12,888人
合格者数	1,770人	2,052人	2,429人	1,841人	2,965人
合格率	14.8%	17.4%	22.6%	16.5%	23.0%

② 出題傾向・難易度・ボリューム

設問	配点	出題者
第一問	25点	学者試験委員
第二問	25点	学者試験委員
第三問	50点	実務家試験委員

● 学者試験委員問題（第一問・第二問）

▶ 出題傾向

近年は個別問題形式で出題されており、具体的には「複数の処理方法の比較」「取引当事者間の処理の比較」「取引が発生してから終了するまでの会計処理」などが問われています。

▶ 難易度（合格ライン）・ボリューム

難易度については問題や年度により様々です。令和2年の第一問ではボーダーラインが20～23点でしたが、平成26年の第二問のボーダーラインは8～10点でした。

ただし、毎年一定の合格率を保っていることから、本試験で合否を決するのは“難しい箇所が解答できるか”ではなく、“多くの受験生が解答できる箇所を確実に得点できたかどうか”です。

●実務家試験委員問題（第三問）

▶出題傾向

実務家試験委員問題は、すべて総合問題形式で出題されており、また、問題構造もほとんどが決算整理型で出題されています。

なお、解答箇所数は年によって様々ですが、解答個所が少ない場合は、1箇所当たりの配点が大きくなることから、精度が重視されます。

▶難易度（合格ライン）・ボリューム

学者試験委員問題同様、各年度により難易度は様々であり、大切なのは“**基本事項の解答精度**”です。

③ 本試験対策（学習のポイント）

● 学者試験委員問題

(1) 苦手論点をつくらない

学者試験委員問題では、様々な論点から満遍なく浅く広く出題されますが、他の受験生が解答できる基本項目さえ正解できれば、十分合格ラインに乗せることができます。その意味でも、苦手論点は極力つくらないようにしましょう！

(2) 内容を理解する

前述したような出題傾向の問題に対応するためには、各論点における会計処理の正確な理解が必要となります。したがって、「テキスト」の内容をしっかりと確認し、該当する「トレーニング（問題集）」の問題を繰り返し解くことが大切です！

●実務家試験委員問題

●総合問題の解答テクニックを身につける

実務家試験委員問題は、「決算整理型の総合問題」という出題形式で毎年出題されます。

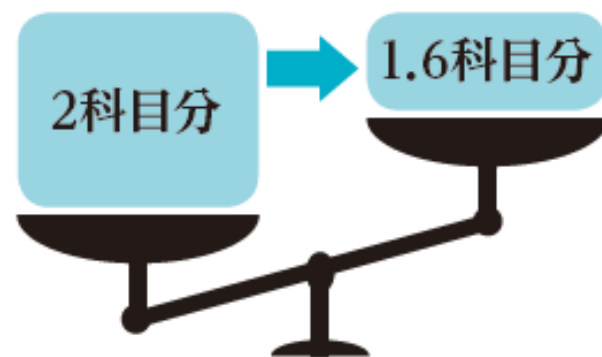
TACでは、「実力テスト（基礎期の定期テスト）」「上級演習（応用期の定期テスト）」「答練（直前期の答案練習）」といった豊富な問題演習や、その解答解説を通じて“**解答手順**” “**解答箇所**の**取捨選択**” “**メモ書きの仕方**”などを身につけ、実践力を高めるカリキュラムを組んでいます。

総合問題演習を通じて答案作成テクニックをしっかりと身につけましょう！

② 財務諸表論との同時学習について

簿記論と財務諸表論は同時に学習することで、次のような相乗効果が期待できます。

- ▶ 簿記と財表（計算）は、学習内容が重複
⇒ 学習負担を軽減できる！



- ▶ 簿記と財表の第三問は同じ出題形式
⇒ 簿記で身につけた総合問題の解法を
財表でもそのまま活用できる！

▶同一の論点を多角的に学習

- ・簿記：個々の取引に関する会計処理方法を学習
- ・財表（計算）：財務諸表の表示方法を学習
- ・財表（理論）：会計処理の目的や背景を学習

⇒より強固な知識として記憶に定着！

簿記論と財務諸表論のどちらか一方の学習を検討されている場合は、簿記論の学習をお勧めします。

3 8月・9月入学コースの紹介

【初学者向けコース】

基礎マスター+上級コース

簿記の学習経験がない方・ 日商簿記3級の学習から期間が空いた方	2023年					2024年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	基礎期					応用期				直前期			
基礎マスター+上級コース 簿記・財表の受講前に 税理士スタート講座の受講が必要になります P21	インプット 簿記 財表 【基礎・応用講義】160分×26回					簿記 財表 【上級講義】160分×20回				簿記 財表 【直前対策講義】160分×9回			
	アウトプット 簿記 財表 【実力テスト】160分×4回					簿記 財表 【上級演習】160分×10回				簿記 財表 【実力完成答練】160分×6回 【直前予想答練】160分×3回			
										合格情報講義<1回>			
										全国公開模試<1回>			
										第74回税理士試験			

<カリキュラム>

基礎期 (8 ～ 12 月)	基礎論点を徹底的にインプット
応用期 (1 ～ 4 月)	講義回で基礎論点の再確認と応用論点の 習得、演習回で解答テクニックを習得
直前期 (5 ～ 7 月)	基礎期・応用期の学習項目の総まとめ + 答案練習

3 回転学習カリキュラムで知識をしっかりと定着！

<使用教材>

基礎期 (9～12月)	応用期 (12月～4月)	直前期 (5月～7月)
基本テキスト	上級テキスト	直前対策テキスト
トレーニング	上級トレーニング	答練
ミニ・実力テスト	上級演習	全国公開模試

【受験経験者向けコース】 年内上級講義＋上級コース

2023年				2024年								
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
基礎期・応用期				応用期				直前期				
インプット	簿記 財表 【基礎・応用講義】160分×11回			簿記 財表 【上級講義】160分×20回				簿記 財表 【直前対策講義】160分×9回			合格情報講義 (1回)	
	簿記 財表 【実力テスト】160分×4回			簿記 財表 【上級演習】160分×10回				簿記 財表 【実力完成答練】160分×6回 【直前予想答練】160分×3回			全国公開模試 (1回)	
アウトプット	第74回税理士試験											

年内上級講義＋上級コースは、受験後の自己採点でボーダーラインを下回り、再受験の可能性が高い受験生を対象に、インプットの不足を補うとともに、知識の再整理を行い、レベルアップを図るコースです。

<カリキュラム>

基礎・応用期 (9～12月)	週1回のペースで学習を進めていき、知識の再整理を行う
応用期 (1～4月)	講義回で基礎論点の再確認と応用論点の習得、演習回で解答テクニックを習得
直前期 (5～7月)	基礎期・応用期の学習項目の総まとめ + 答案練習

<使用教材>

基礎・応用期 (9～12月)	応用期 (1月～4月)	直前期 (5月～7月)
テキスト	上級テキスト	直前対策テキスト
実力テスト	理論テキスト	答練
	上級トレーニング	全国公開模試
	ポイントチェック	
	上級演習	

<このような方にオススメ！>

第73回税理士試験の自己採点の結果が、TACの公表しているボーダーラインまで5点程度及ばず、第74回税理士試験に向けて実力維持を図りたい方

第73回税理士試験の自己採点の結果が、TACの公表しているボーダーラインまで10点程度及ばず、かつ、これまでの受験指導校での答案練習成績がおおよそ平均点以上であった方

<科目変更制度> ～合格していた場合も安心！～

11月末の合格発表後、一定期間、受講科目・受講コースが変更できる制度をご用意しています。

「年内上級講義＋上級コース」で学習していた科目が11月末の合格発表で合格していた場合も、この制度を利用して12月以降から次の科目の学習に進むことができます。

簿記の学びははじめからスタート!

税理士スタート講座 **無料**

簿記の学習経験がない方や、日商簿記3・2級の学習からブランクがある方は、税理士の学習に必要な簿記3級が学べる「税理士スタート講座」が無料で受講できます。

キャンペーン
対象者

簿記論・財務諸表論・消費税法 いずれかの科目を
「基礎マスター+上級コース」でお申込みの方

※単科生が対象です(期別申込は除く)。本科生・バック生は申込特典(P39 参照)で無料受講できます。
※学習メディアは問いません(資料通信講座を除く)。

税理士スタート講座 P21

キャンペーン期間

2023年

7/14(金)~9/27(水)

[学習メディア]

ビデオブース講座

Web通信講座

通常受講料

※教材費・10%税込

~~¥18,000~~

▶ **¥0**

大学生から税理士受験スタート!

目指せ在学中5科目合格!

U22 割引キャンペーン

会計科目の簿記論・財務諸表論は誰でも受験できるようになりました。この受験資格緩和を受けて、22歳以下の方の早期受験をサポートする特別割引を実施いたします。

[注意] 申込時に23歳の誕生日を迎えていない方が、当割引の対象となります。

●割引対象のプラン ※いずれのプランも一括受講料または分割1年目受講料が割引の対象となります。

5科目
パック

2024年・2025年合格目標

U22 割引 2年本科生

2024年・2025年・2026年合格目標

U22 割引 3年本科生

2科目 or
3科目パック

2024年・2025年合格目標

U22 割引 2年2科目フリーパック

2024年・2025年合格目標

U22 割引 2年3科目フリーパック

令和4年度税理士試験
在学中合格率 **29.8%**※

※令和4年度税理士試験における在学中合格率は29.8%と、全体の合格率(19.5%)を大きく上回っています!

キャンペーン期間

2023年

4/3(月)~9/27(水)

割引プラン受講料などの詳細は、
専用パンフまたはホームページで
ご確認ください。

